

令和元年度地盤沈下調査結果の概要について

埼玉県では、昭和 36 年から毎年、地下水の汲上による地盤沈下の状況を把握するために 1 級水準測量を実施しています。

令和元年度は、県内平野部の 594 地点において令和 2 年 1 月 1 日現在の標高を測量し、内 592 地点について、前年の標高と比較して地盤変動状況を把握しました。

その結果、建物等に被害を及ぼすとされている、年間 2 cm 以上の沈下を観測した地域はありませんでした。なお、最大沈下量は 1.4cm でした。

1 調査結果の概要

(1) 調査地点の変動状況

環境省が建物等に被害の発生するおそれの目安としている、年間 2 cm 以上の沈下があった地点はありませんでした。

調査地点 594 点	有効点 592 点	沈下 159 点	2 cm 以上 0 点
			2 cm 未満 159 点
		不動 6 点	
	隆起 427 点		
	無効点※ 2 点		

※ 無効点とは、水準点付近の工事等に伴い、水準点を別の場所に移設したことにより、前年の標高との比較ができない地点のことです。

(2) 地盤沈下面積

調査年度	区分	年間 2 cm 以上の 沈下面積 (km ²)	年間 0 cm 以上 2 cm 未満の 沈下面積 (km ²)
平成 30 年度		0.0	1733.2
令和元年度		0.0	395.4

(3) 1 年間の最大沈下量 (地点)

調査年度	年間最大沈下量（地点）
平成 30 年度	1.6cm（久喜市栗橋北）
令和元年度	1.4cm（本庄市児玉町金屋）

2 地盤沈下の状況

近年は、工業用水法、建築物用地下水の採取に関する法律（ビル用水法）に加え、埼玉県生活環境保全条例等による地下水採取規制や、河川表流水への水源転換などにより、地盤沈下の程度は沈静化傾向にあります。

しかし、近年も渇水の発生した年には、地下水の汲上量が増え、地盤沈下面積が拡大しています。このため、引き続き地盤沈下の状況に注視が必要です。

3 今後の対応

（1）地下水採取規制と地盤沈下・地下水位の観測

埼玉県生活環境保全条例に基づく地下水採取規制、地盤変動調査及び地下水位の観測を継続し、地盤沈下の防止に取り組んでいきます。

（2）渇水時等の地盤沈下対策

地下水位の著しい低下により、地盤の沈下が生ずるおそれがあると認めるときは、「埼玉県地盤沈下緊急時対策要綱」に基づき、1年間に10万m³以上の地下水を利用している事業者に対して地下水利用に自粛を促すなどの対応を行います。

※ 詳細については、次のホームページで情報提供しています。

水準測量成果表等について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0505/901-20091217-288.html>

地下水採取規制について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0505/901-20091218-19.html>

参考資料

1 令和元年度最大沈下量上位5地点

(平成31年1月1日～令和2年1月1日)

単位：cm[※]

順位	水準点番号	所在地(地域)	沈下量
1	55-05	本庄市児玉町金屋(北部)	1.4
2	埼玉-3	神川町新宿(北部)	1.3
3	59-04	神川町新里(北部)	1.2
4	55-04	神川町二ノ宮(北部)	1.2
5	55-08	美里町広木(北部)	1.2

※沈下量の単位は全国地盤環境ディレクトリに合わせている(以下同じ)

2 年間最大沈下量経年変化

年次	昭和36年	37年	38年	39年	40年	41年	42年	43年	44年	45年
最大沈下量	18.7	23.6	20.8	18.8	18.5	15.6	16.5	16.0	13.8	20.9
市町名	川口市						戸田市	草加市	朝霞市	

年次	46年	47年	48年	49年	50年	51年	52年	53年	54年
最大沈下量	19.4	23.8	25.2	27.2	14.7	14.1	9.8	12.5	9.6
市町名	新座市	所沢市					鷺宮町 [※]	鷺宮町 [※] ・栗橋町 [※]	

年次	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年	62年	63年	平成元年
最大沈下量	7.9	6.7	5.3	5.2	6.0	5.6	4.7	4.8	5.4	4.6
市町名	鷺宮町 [※]		栗橋町 [※]	鷺宮町 [※]	栗橋町 [※]					

年次	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年
最大沈下量	4.4	4.2	4.7	3.2	4.8	4.4	4.0	3.4	2.4	3.3
市町名	栗橋町 [※]		北川辺町 [※]	鷺宮町 [※]		越谷市	栗橋町 [※]	越谷市		鷺宮町 [※]

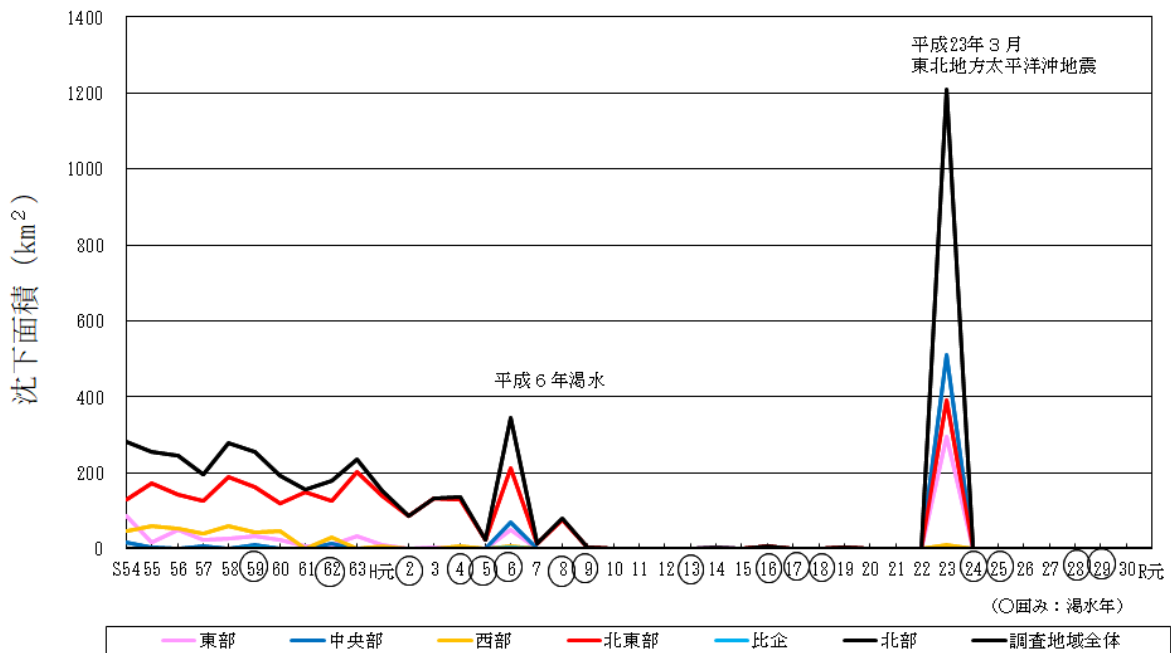
年次	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
最大沈下量	2.9	2.2	2.4	2.5	4.7	1.8	1.9	2.7	1.1	1.6
市町名	鷺宮町 [※]	越谷市	北川辺町 [※]	所沢市	越谷市	栗橋町 [※]	大利根町 [※]			所沢市

年次	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
最大沈下量	2.4	12.5	2.3	2.3	1.2	1.0	1.8	1.2	1.6	1.4
市町名	加須市		幸手市	加須市		川越市	加須市	加須市	久喜市	本庄市

3 年別沈下量別面積の水位

区分	年次				
	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
4 cm 以上 10cm 未満	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²
2 cm 以上 4 cm 未満	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²
計 (A)	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²
(A) / 県面積 (3,797.75km ²)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

4 地域別沈下量面積 (年 2 cm 以上) の経年変化図



担 当 土壌・地盤環境担当

電 話 048-830-3084

E-mail a3070-06@pref.saitama.lg.jp